

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名 地域包括ケアシステム構築・整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 在宅医療福祉係 電話番号：058-272-1111(内3283)

E-mail : c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,000 千円 (前年度予算額： 6,000 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	6,000	0	0	0	0	0	0	0	6,000
要求額	6,000	0	0	0	0	0	0	0	6,000
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

岐阜県医師会が進めている、県内全域の医療機関、介護施設の情報をデータベース化し、連携を密にするためのネットワークシステムである「岐阜県包括的地域ケアネットワーク（通称：はやぶさネット）」の整備に対し補助を行うものである。平成23年度に岐阜、西濃圏域から整備を始め、平成25年度に県下全域に対象が拡大した。

令和2年度から、新型コロナウィルス感染症対策として、県医師会が実施する医療関係者向けの研修等をはやぶさネットでの動画配信等によって代替するためのシステム改修を行っている他、より利用しやすいシステムとするための見直しを実施しており、今後数年間かけてシステム改修していく予定である。

(2) 事業内容

利用者間の連携強化と利用者の拡大を図り、更なる情報の拡充のため、県民や在宅関連職種の方からの相談窓口を設置するとともに、システムの必要な情報の更新や改修の実施及び保守・改修に係る経費に対し補助するものである。

(3) 県負担・補助率の考え方

県民に在宅医療・介護関係施設等の情報を提供し、多職種の連携強化を図る本システムに対する補助は県の在宅医療施策に合致するものであり、引き続き補助を継続する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	6,000	構築：会議等運営費、人件費等 (2,500) 整備：システムの保守・改修費 (3,500)
合計	6,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第8期岐阜県保健医療計画

「住み慣れた地域での療養を希望される方が、在宅医療・介護を選択することができるよう、在宅医療を実施している医療機関、在宅介護を実施している事業所の情報を県医師会のホームページ上で提供していきます。」

(2) 国・他県の状況

鹿児島県：在宅医療関連のHPの設置

財源-県補助（地域医療介護総合確保基金）
250,000千円（H25～H27年度 総額）

(3) 後年度の財政負担

県の在宅医療施策の普及啓発のツールとして、引き続き事業支援していく。

(4) 事業主体及びその妥当性

県医師会が整備したシステムの保守等に対する補助であり、県医師会への補助は妥当である。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	地域包括ケアシステム構築事業費補助金
補助事業者（団体）	一般社団法人 岐阜県医師会 (理由) 県内の医療・介護資源情報等についてウェブを通して、広く県民に情報提供できるネットワークシステムを有しているため
補助事業の概要	(目的) 県民に在宅医療等に必要な情報を提供する (内容) 県内の医療・介護資源等の情報提供
補助率・補助単価等	その他 (内容) 会議運営費、人件費、システム保守・改修費 (理由) 地域包括ケアシステムにおける在宅医療・介護資源情報や関係職種への研修情報等は本来、県が広域的に県民等に提供することが適切なため
補助効果	県民等への情報提供
終期の設定	令和9年度 (理由) 第8期保健医療計画 中間見直し時

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか 岐阜県包括的地域ケアネットワーク（はやぶさネット）を、医療・介護関係者がより利用しやすいうように改善を図ることにより、はやぶさネット利用者数が増加し、医療・介護の連携が推進される。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①はやぶさネットサイトアクセ		61千回	95千回	95千回	95千回	65%

補助金交付実績 (単位：千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	5,686	6,381	5,596	5,510

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	これまで医師会で各医療機関の情報を入力していたが、各医療機関で入力できるよう、IDを医師会会員の全医療機関（1,334）に発行し情報を正確に早く知ることができる様にした。
指標① 目標：85千回 実績：73千回 達成率：81 %	
令和5年度	お知らせの掲載時にメールマガジンで通知される機能を追加し、情報発信機能が拡充された。
指標① 目標：90千回 実績：63千回 達成率：70 %	
令和6年度	研修会の内容を掲載し、閲覧数の増加に努めた。
指標① 目標：95千回 実績：61千回 達成率：64.2 %	

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	県民が安心して生活していくために医療と福祉の連携は必要であり、地域包括ケアネットワークシステムの整備は連携の向上に資するものである。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価) 1	在宅医療・介護情報の充実と情報の一般公開化により、システムの活用の幅が広がっている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	利用者の拡大や利便性の向上に向けたシステムの改修等を行っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

在宅医療介護連携の取組みが求められる中、保健医療計画における各設定指標（訪問診療・往診・在宅看取り等）のうち目標に達していない指標も多い。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

岐阜県包括的地域ケアネットワークシステム（はやぶさネット）は医療・介護連携推進の中核となるポータルサイトであることから、システムの継続が必要である。